

近代画説

明治美術学会誌

1 1992 目次

発刊の辞

河北 倫明

6

『近代画説』
発刊に際して 洋画の運命―中国と日本

芳賀 徹

8

巴里の浅井忠 図案への目覚め

クリストフ・マルケ

12

小坂象堂 資料

53

小坂象堂 日本近代絵画史上の象堂

吉田千鶴子

66

小坂象堂 略歴

吉田千鶴子 編

71

変容する日本美術界 (一)

アドルフ・フィッシャー
松井隆夫 翻訳

73

アドルフ・フィッシャー 覚え書

安松みゆき

92

『小宴記念』画帖について

三輪 英夫

96

よろず手控帖から (一)

青木 茂

117

黒田清輝と「構想画」

高階 秀爾

124

明治美術学会活動歴

岡部昌幸 編

130

冬、扇房偏執後記

丹尾 安典

138

近代画説

明治美術大誌

2
1993

目次

「オリエンタリズム」以後

イマン・ブライソン

7

〔訳者付言〕

12

〔翻訳〕 丹尾安典

小山正太郎 評伝

金子一夫

13

歴史史料としてのコレクション

佐藤道信

39

山本芳翠《十二支》についての一試論

高階絵里加

52

変容する日本美術界 (二)

アドルフ・フィッシャー

75

〔翻訳〕 松井隆夫

アドルフ・フィッシャー 覚え書 (二)

安松みゆき

93

よろず手控帖から (二)

青木 茂

97

シカゴ万博出品の安藤仲太郎《寺》図について

高階秀爾

103

冬扇房偏菟後記

丹尾安典

107

*ノーマン・ブライソン Norman Bryson 〈「オリエンタリズム」以後 After 'Orientalism'〉の原文及び、
山梨絵美子「渡辺幽香のシカゴ万国博覧会婦人館出品作について」／古田 亮「東京国立博物館所蔵シカゴ博
覧会出品目録」／「シカゴ万博史料」1・2・3・4 (出品目録) は、横組で巻末から収載致しました。

近代画説

3
1994
目次

特集 高橋由一

巻頭エッセイ

ぼくの「花魁」

野見山暁治

7

言説としての高橋由一 1866～1961 例言と年表 (一)

北澤 憲昭

10

高橋由一の展覧会 (前編)

木下 直之

38

皇国貴顕の肖像と高橋由一

横田 洋一

53

変容する日本美術界 (三)

アドルフ・フィッシャー

69

〔翻訳〕 松井 隆夫

アドルフ・フィッシャー覚え書 (三)

安松 みゆき

89

よろず手控帖から (三)

清親の「光線画」
戦中の綺書 珍本、私家版図書

青木 茂

93

黒田清輝におけるオランダとイタリア

高階 秀爾

100

冬扇房偏菟後記

丹尾 安典

110

近代画説

4 1995 目次

〔口絵図版〕 高橋由一《鮭》／

山本芳翠《小鳥の野》 離れ家裝飾壁画「竹に雀」「梅に錦鶏」

言説としての高橋由一 1866～1961 例言と年表(二)

北澤憲昭 7

ジャポニズムの経済学 佐藤道信 25

パリ時代の山本芳翠 高階絵里加 42

資料1 新発見作品リスト 70・71
資料2 同時代文献リスト

川村清雄とヴェネツィアにおける日本語教育

石井元章 72

〔日本語教授法イタリア語原文〕
二十五章 日本語 XXV LINGUA GIAPPONESE 78・79

〔研究発表要約 résumé〕

幕末・明治美術史の周辺 福永郁雄	80	中村彝の手紙 瀧谷由紀	81
森鷗外と原田直次郎 新聞公子	82	明治期日本画のアイデンティティー 福田徳樹	84
歴史画家としての菊地容斎 塩谷純	85	歴史史料としてのコレクション 佐藤道信	86
最初の彫刻、後藤貞行について 田中修二	87	教育品展覧会再考 村山鎮雄	88
藤田嗣治の一九三〇年代壁画を中心に 林洋子	89	〈太平洋戦争画〉試論 河田明久	90
シカゴ万博における日本美術 志邨匠子	91	新興美術運動の先駆者 久米民十郎 五十殿利治	92
一九二〇年代のパリが残したもの 柳沢秀行	93	藤牧義夫と《隅田川絵巻》を中心に 水沢勉	94
エコール・デ・ボザールに学んだ日本人 児島薫	95		

よろず手控帖(四) 川上冬庵、内田正雄と『輿地誌略』 青木茂 98
市川清流『尾鯉欧行漫録』のことなど

編集後記 青木茂 106

(特別展)

結成一〇〇年記念

白馬会

明治洋画の新風 ―開催記念シンポジウム(誌上報告)

「白馬会の時代」 (基調講演再録)

陰里鐵郎

8

白馬会と裸体画

植野健造

14

東京美術学校と白馬会

岡倉天心と黒田清輝

吉田千鶴子

34

黒田清輝の意見書

39

異種交配の海

山本芳翠《浦島》をめぐって

高階絵里加

49

白馬会のその後と岸田劉生

横田洋一

73

●パネルディスカッション

明治美術の光彩 ―白馬会をめぐって

司会 高階秀爾／青木 茂

98

歌田真介 陰里鐵郎
佐藤道信 芳賀 徹

白馬会成立の意味についての一試論

児島薫

108

川村清雄とヴェネツィアにおける日本語教育(補遺)

石井元章

125

アカデミー・ジュリアンと徳永仁臣

高階秀爾

132

[研究発表 要約 résumé]

明治前期の石版額絵について 増野恵子……137 国芳一派の海外情報 横田洋一……138

石橋和訓 その人と作品 林みちこ……140 陽成二と「構造社」 伊豆井秀一……141

小林永濯の人と作品 松浦あき子……142 国民国家形成期の文化財・美術 高木博志……144

農商務省海外実業練習生をめぐって 森 仁史……145

テオドール・デュレと明治・大正の日本美術 稲賀繁美……146

後 記

丹尾安典

148

近代画説

6

1997

目次

不同舎のデッサンと明治の日本画

森田恒之

7

日本近代における 美術史記述の起源・序説

木下長宏

12

「朝鮮美術展覧会」の創設について

李 仲熙

21

児島虎次郎とエドモン・フランソワ・アマン・ジャン — 美術品蒐集活動を中心に —

松岡智子

40

パリ時代の山本芳翠 [資料編]

高階絵里加

53

言説としての高橋由一 1866～1961 例言と年表 (三)

北澤憲昭

76

建築家コンドルと絵画 — 岩崎久彌邸婦人応接室の場合 —

鈴木博之

94

アレクサンドロ・フェードステイアーニ伯爵の日本美術コレクションについての一考察

石井元章

99

よろず手控帖 (五) へにせものほんもの考

青木 茂

113

亡き妻への相聞歌

高階秀爾

118

[研究発表(要約) résués]

黒田清輝・外光派の絵画意識と美術教育 金子一夫 — 120 / 黒田清輝と白馬会 田中淳 — 121

後記 丹尾安典

124

戦時下、海外への日本現代画家紹介 — 梅原龍三郎・宮本三郎・藤田嗣治
英文雑誌『SUNRISE』より
雑誌『中学世界』に発表された青木繁の作品

6
1～25

1
1～5

岩切信一郎

近代画説

7
1998

目次

名訳それとも誤訳? —— ヴァルルールという言葉をめぐる ——

森田恒之 7

油画のマティエール —— 外光派の油画技法 —— 歌田真介 13

大正期美術雑誌の投書欄について —— 読者とアマチュア ——

五十殿利治 30

アンリ・セルヌーシとテオドール・デュレ —— コミュン、アジア旅行、美術蒐集 ——

稲賀繁美 42

特命全権公使 鮫島尚信の肖像 —— 蘇った山本芳翠の作品をめぐる ——

三浦篤 59

岩田準一摘記 丹尾安典 77

韓国近代油絵の流れ —— 「近代を見る眼」展をめぐる ——

金恵信 98

〔研究発表〈要約〉〕résumés

建築理解のフレーミング 明治期建築導入時における建築認識の中間的諸相 清水重敦¹²⁴／う
つされた建築 明治四十三年撮影「東京市内建物」写真にみる建築認識 清水重敦¹²⁴／ことば
—— 造家学会改名に見る「建築」認識の生成と変遷 山崎幹泰¹²⁶／雛形書に捉えられた『洋風建
築』倉方俊輔¹²⁷

よろず手控帖(六) 青木茂 128

「浪裏」をめぐる幻想 高階秀爾 137

編集後記 丹尾安典 142

近代画説

8

1999

目次

高橋由一「酢川にかかる常磐橋」の謎

森田恒之 5

アンリ・チエルヌスキとテオドール・デュレが見た明治四年の日本

クリストフ・マルケ
訳・丹尾安典 12

審美書院の美術全集にみる「日本美術史」の形成

村角紀子 33

〔資料紹介〕

西崖日記

吉田千鶴子 52

〔資料紹介〕

高橋由一『三県道路完成記念帖』の異版について

大下智一 90

〔研究発表（要約）resumes〕

「恩地孝四郎の〈抒情画〉と竹久夢二」——桑原規子⁹⁶／明治二十年代における竹内久一の制作活動とその背景——
沓沢耕介⁹⁷

〔シンポジウム発表要旨〕

明治神宮聖徳記念絵画館の成立経緯をめぐって——林洋子⁹⁹／明治神宮聖徳記念絵画館の日本画について
——佐藤道信¹⁰¹／明治天皇事蹟をめぐって——二世五姓田芳柳と岸田劉生——横田洋一¹⁰⁴

よろず手控帖（七）

青木 茂 108

江戸東京名所考（一）

高階秀爾 114

編集後記

丹尾安典 122

〔資料紹介〕

「それらをどうすればよいのか」——米国公文書にみる「戦争記録画」接收の経緯

河田明久
(1～41)

巻頭エッセイ

学術的視点と真贋

福富 太郎 7

国会議事堂の意匠

鈴木 博之 10

藤牧義夫版画《赤陽》疑義

大谷 芳久 19

水野年方とその門下

岩切信一郎 57

近代日本の城について

木下 直之 80

高橋由一《花魁図》と兵庫下髪

清水 玲子 100

フェノロサと「浮世絵史考」

亀井 志乃 129

狩野友信の明治——奥絵師から日本画教師へ——

山田久美子 148

研究発表(要約) *Resumes*

竹久夢二と法律新聞

西恭子 168 / 「対露宣戦布告御前会議」(明治神宮聖徳記念絵画館蔵)

をめぐって「児島虎次郎日記」を中心として

松岡智子 170 / 調査報告 藤田文蔵の履歴と制

作歴

佐藤善二 172 /

よろず手控帖 (八)

青木 茂 176

編集後記

丹尾 安典 180

『近代画説』の十年

高階 秀爾 6

エッセイ 頗る和臭を帯びたりといへども

酒井 忠康 10

アメリカのエステティック・ムーブメントにおける
日本の美術工芸品の受容

中島 朋子 14

プロスペロ・フェツレツティ研究―インド、日本、そしてイタリア―

河上 眞理 33

〔資料紹介〕松室重剛の工部美術学校関係の資料

青木 茂 54

〔資料紹介〕『稿本日本帝国美術略史』の成立と位相

森 仁史 63

〔資料紹介〕和蘭画学校誌

木下 直之 74

《原典紹介》『仲静遺作集』

83

《原典紹介》『雪佳遺作集』

98

研究発表(要約) *Resumes*

五姓田義松の一八八二年サロン初入選

吉川 節子¹²⁸／原三溪の美術家支援について

三上 美和¹³¹／《肇国創業絵巻》について―考証とフロパガンダ―

長嶋 圭哉¹³³／

村山槐多拾遺

佐々木 央¹³⁶／日本画における額の消滅―一九三〇年ローマ美術展における

展示空間をめぐって

石井 元章¹³⁸

編集後記

丹尾 安典 140

『近代画説』通巻目録 第一号～第九号

142

〔書評〕

G・ワイゼンフェルド編『ボジションズ 東アジア文化批評』
特集号〈日本帝国主義下の視覚文化〉

瀧井 直子 158

巻頭エッセイ

戦前と戦後の間 美術鑑賞教育研究史

金子一夫 5

〔特集〕美術批評家列伝

〈横川毅一郎／式場隆三郎／税所篤二／佐波甫／柳亮／外山卯三郎〉

まえがき

五十殿 利治 14

① 横川毅一郎―美術と社会、美術の社会―……………河田明久 16

② 式場隆三郎―美に魅せられた医家……………木下長宏 29

③ 税所篤二―日仏美術交流に尽力した美術批評家……………五十殿利治 41

④ 佐波甫―戦前の批評活動を中心に……………桑原規子 55

⑤ 柳亮―批評が作家をリードする……………江川佳秀 71

⑥ 外山卯三郎―「純粹絵画」の名のもとに……………大谷省吾 84

近代神武天皇像の形成 明治天皇Ⅱ神武天皇のシンボリズム

千葉慶 96

〔資料紹介〕一九三〇年羅馬開催 日本美術展出品作品に関して

草薙奈津子 127

研究発表〈要約〉Résumés

睦月の睦仁―正月の天皇―……………増野恵子 148／王家の肖像・明治天皇肖像をめぐって……………

横田洋一 151／《日本美術への道程》古物学「江戸後期の〈古物〉認識」……………吉田衣里 154／《日本美術へ

の道程》古美術の展示と図録 明治前期におけるモノの想像力……………鈴木廣之 156／《日本美術への道程》

明治期の古美術写真 機内宝物取調を中心に……………村角紀子 158／

巻頭エッセイ 隈元謙次郎先生追憶

青木 茂 7

特集 「近代」と「美術」の外側

「近代」と「美術」の外側〔解題〕……………佐藤 道信 10

古物 —江戸から明治への継承……………吉田 衣里 13

観山と能……………清水 玲子 31

近代における「書」の成立……………高橋 利郎 50

「アジア復興 レオナルド・ダ・ヴィンチ展覧会」と
戦時下の「レオナルド時代」……………谷口 英理 64

G H Qの美術行政

—C I E美術記念物課による「美術の民主化」と矢代幸雄……………佐藤 香里 80

矢代幸雄と

アメリカ巡回日本古美術展覧会（一九五三年）……………久保 いくこ 96

〔資料紹介〕

帝展改組と京都画壇 —橋本閑雪に宛てた大観・玉堂らの書簡から —岩間 真知子 115

研究発表（要約）Résumés

「影」になること—十九世紀日本の身体感覚と肖像表現……………岡戸 敏幸 138
／東京芸術大学西洋画科
自画像について……………福田 徳樹 141

江戸東京名所考（二）

高階 秀爾 144

編集後記

丹尾 安典 148

巻頭エッセイ 眼の遍歴―ジャン・ジャック・オリガスと近代日本美術―

クリストフ・マルケ
〔訳〕丹尾 安典 7

特集 「画塾」と「美術学校」

「画塾」と「美術学校」〔解題〕……………金子 一夫 18

明治晩期の日本画修業―矢澤弦月日記より……………吉田 千鶴子 23

川端画学校沿革……………江川 佳秀 41

渡辺文三郎・松原三五郎資料から見た
五姓田塾と天彩学舎……………赤木 里香子 63

貝原京平および堀和平資料と岡山初期洋画……………杉野 文香 78

明治期木版彫師考―初期から中期、木村徳太郎を中心に……………岩切 信一郎 86

戦時下における美術制作資材統制団体について……………迫内 祐司 104

研究発表(要約) *Résumés*

日本美術史における茶の湯……………依田 徹 127／紀淑雄の美術家養成活動……………沓沢 耕介 129

川端画学校―画塾から画学校へ……………浅野 智子 132

巻頭エッセイ

右前自画像の消滅——写真を見て描くことはいつから悪になったのか……森田 恒之 7

特集「明治回顧」緒言 明治美術学会のはじまりをめぐって……木下 直之 18

明治百年と明治六十年……木下 直之 20

美術史における回顧……宮下 規久朗 35

明治美術の回顧 一九六八年以前の展覧会・論文・単行本データ——恵美 千鶴子 46
〔年表〕「展覧会」「雑誌記事・論文」「出版」〔恵美 千鶴子 編〕 48～74

〈明治美術学会回顧〉

二十二、三年前のゆるやかな連帯組織

「明治美術研究会」のころから……青木 茂 75

明治美術研究学会事始……歌田 眞介 79

五姓田義松展を学会と共催した理由……横田 洋一 82

明治美術研究会の頃……金子 一夫 86

異才・奇才の研究集団……佐藤 道信 89

明治美術学会創世記の資料抄出——森 仁史 91

〔年表〕「明治美術研究学会活動歴」〔追内 祐司 編〕 95～99

藤雅三の仕事——アメリカでの活動を中心に——瀧井 直子 100

研究発表〈要約〉Résumés

明治期東京美術学校油画作品にみるふたつの白——黒田清輝とフランス……作間 美智子 125／日本画材料の近代化——狩野芳崖筆「仁王捉鬼図」の位置……荒井 経 128／高橋勝蔵の舞台背景製作……坂本 麻衣 131／上野西郷隆盛銅像——その建設過程と受容をめぐって……恵美 千鶴子 134／近代における「百済観音」の形成について……宮田 徹也 136／大熊氏廣作《大村益次郎像》から「銅像」とは何かを考える……吉田 朝子 139／欧米における日本庭園像の転換と原田治郎……片平 幸 141

編集後記

丹尾 安典 144

〔明治美術学会 会員業績録 2000年4月1日～2005年3月31日〕—— 1～9

近代画説

15
2006 目次

巻頭エッセイ

所感

青木 茂 6

エッセイ Essay

濱中さんのこと、山種美術館のこと

塩谷 純 8

特集 昭和の美術

〔解題〕「美術」の昭和

河田明久 14

プロレタリア美術とエロ・グロ・ナンセンス

足立 元 16

シュルレアリスムと行動主義

——小松清、福沢一郎、矢崎博信を中心に——

大谷省吾 36

戦時期美術作品の複数制作について

河田明久 48

プロレタリア美術運動と造型美術家協会……喜多孝臣 62

前衛絵画と機械的視覚メディア——古賀春江から瑛九へ——……谷口英理 78

産業工芸の郷里 畑正吉、国井喜太郎と富山県立工芸学校……藤井素彦 100

美術史跡探訪

藤雅三の墓

瀧井直子 122

研究発表〈要約〉 Resumes

鏑本清方の造形と文学……角田拓朗¹²⁵／ポストン美術館における岡倉覚三の展示活動——（日本美術）の提示と〈中国美術〉の形成——……久世夏奈子¹²⁷／『萬朝報』の「端書ボンチ」——主な傾向と常連投稿者——……加藤真弓¹³⁰／画家の疎開——藤野町における藤田嗣治と新制作派協会の画家たち——……高島由紀¹³³／「李王家徳寿宮日本美術陳列」について……朴昭炫¹³⁶／中村彝の訳稿問題……舟木力英¹³⁸／大原美術館工芸館設立と芹沢銈介の展示について……浅野智子¹⁴¹／明治輸出工芸の岐路——繭絲織物陶漆器共進会を中心に……花井久穂¹⁴⁴

編集後記

丹尾安典 148

〔明治美術学会会員業績録 2005年4月1日～2006年3月31日〕 155

近代画説

16
2007

目次

巻頭エッセイ

美術書出版回顧三十年

森 登 6

〈特集〉日本近代美術と「官展」

『近代画説』公募論文の出版と査読の経過……………金子 一夫 12

*

東京勧業博覧会と文展創設

——北村四海による「霞事件」を中心に……………迫内 祐司 14

文展開設の前後における

「美人」の表現の変容について……………児島 薫 31

美人画から風俗画へ——鎬木清方の官展再生論……………角田 拓朗 48

満洲国美術展覧会研究……………崔 在嫻 62

官展改革の夢——紀元二千六百年奉祝美術展覧会・戦争「新体制」……………金子 牧 81

アメリカにおける橋本雅邦評価と抽象絵画……………志邨 匠子 96

研究発表〈要約〉Résumés

柳宗悦開設の展示館における「民芸」〈朝鮮民族美術館〉、〈三国荘〉、〈日本民芸館〉を中心に……朴 炫貞 111
／「輿地誌略」のイメージソースについて……増野 恵子 113／藤田嗣治「欧人日本へ渡来の図」——「層の
下地について」……渡辺 郁夫 116

編集後記

丹尾 安典 120

明治美術学会 会員業績録〔2006年4月1日～2007年3月31日〕

44～49

*

〔資料紹介〕和田英作日記〔1921年8月16日～1922年2月7日〕……………手塚 恵美子 1～43

巻頭エッセイ

研究対象としての作品と人間

—その質、量、そして全体像—

金子 一夫 6

【特集】近代の挿絵・漫画

論文審査会・査読結果報告……………

佐藤道信 18

*

『萬朝報』の「端書ボンチ」

—一九〇七年から一九一六年までの

主題の傾向と常連投稿者—

吉崎真弓 20

大野雲外の画業

—人類学教室での活動と『模様集』—

蔵田愛子 38

藤田嗣治の漫画

—一九三八年の『バクシヨ』と『親隣画集』をめぐって—

足立 元 57

東城鉦太郎—日露戦争の画家—

向後恵里子 74

【史料紹介】

大村西崖の渡欧日記

吉田千鶴子 102

大村西崖 欧米歴遊日記〔吉田千鶴子編〕

104

研究発表〈要約〉Résumés

ニューヨーク万国博覧会と工芸—文化宣伝と輸出振興……………山本 佐恵 133／戦時下のアメリカと

東アジア美術—山中商会の活動を例に……………小熊 佐智子 136／和田英作と装飾美術—アールヌー

ヴォーから建築装飾へ……………手塚 恵美子 138

編集後記

丹尾安典 142

近代画説

18
2009

目次

巻頭エッセイ

土方定一著『近代日本文学評論史』、
『近代日本洋画史』について雑感

青木茂 4

【特集】近代の彫刻・立体

公募論文審査について……………五十殿利治 10

＊

関西美術会の活人画……………石井香絵 12

「彫塑」の実現

新発見の米原雲海作品二点を介して……………藤井素彦 29

明治廿二年伊國彫刻展覧会について
模刻による初めてのイタリア彫刻展……………石井元章 47

【資料研究】

内田正雄『輿地誌略』の研究……………増野恵子 64

佐野昭の彫刻―白馬会の彫刻をめぐって……………吉田朝子 94

研究発表〈要約〉Resumes

幕末期の書画鑑定における權威の在処―「古筆了伴／安西雲煙鑑定件始末」を中心に―……………佐藤温 114／美術市場の形態と価格……………宗藤綾子 117／縄文土器と日本近代の美術史学……………春原史寛 119／《ドイッの少女》のC・プファフのこと……………安松みゆき 121／「特攻」と「玉碎」―沖繩戦と藤田嗣治をめぐる一考察―……………奥間政作 124

編集後記

丹尾安典 128

近代画説

19
2010

目次

巻頭エッセイ

SKとTA——『從征日記』の挿絵画家……………河田明久 4

特集「旅行・留学・放浪」

公募論文審査について……………木下直之 16

藤島武二・旭日を描く旅……………児島薫 18
——花蔭亭壁画と御学問所を飾る絵画の制作について……………

来日西洋人と幕末・明治前期の書画会……………川崎智子 35

岡沢家資料に見る疎開期から帰仏期の藤田嗣治……………高島由紀 57

長谷川三郎とハンス・リヒターの親交……………江口みなみ 73
——ニューヨークの出会いから「日米抽象美術展」へ……………

研究発表(要約) Resumes

〈来京外国人向け〉の美術工芸品の輸出……………太田智己 92／古都の近代と京都イメージ……………
高木博志 95／池田龍雄の脱領域的活動——制作者懇談会から劇団・人間座へ……………西澤晴美 98／銀座紀伊
國屋ギャラリーをめぐる……………大谷省吾 101／一九一〇年日英博覧会における「日本美術」の表象お
よびイギリスにおける浮世絵版画の受容……………板橋美也 104／放菴の片ぼかしと近世絵画——「小杉放菴
と大観」展を開催して……………出光左千子 107／『蜻蛉集』とダンヌンツィオ——西洋うた“Outa occidentale”
新資料をめぐって……………尾崎有紀子 110

編集後記……………丹尾安典 114

〔明治美術学会 会員業績録 2009年4月1日～2010年3月31日〕……………1／6

〔第20号記念論考〕

あふらあうひまなび

油絵初学 明治十年前後―私的近況報告

青木茂 4

視覚型と触覚型

歌田真介 16

台湾戦争図再々考

木下直之 23

藤島武二研究拾遺

児島薫 44

―「天平時代」および「東洋」の表現について

一九三〇年代東京の展示空間とモダン・イズム

―ギャラリー「ブリュッケ」について

五十殿利治 56

藤田嗣治（レオナル・ウジタ）と日本画

古田 亮 71

―あるいは、自画像の深層

〔公募論文〕

公募論文 審査について

岩切信二郎 84

藤岡作太郎と『古画備考』

―明治期における江戸の書画情報の受容―

村角紀子 86

太平洋を渡る石膏像

―ボストン美術館から東京美術学校への輸送記録―

荒木慎也 106

柴田是真の漆作品における「素彫」の意義

高尾曜 124

鏑木清方と『曲亭馬琴』

第一回文部省美術展覧会の落選画に関する一考察

篠原 聡 144

〔資料研究〕

新出の五姓田義松関係資料について―肖像・風景・実像―

角田拓朗 164

研究発表（要約）Résumés

ルパンカを纏う人たち―大正から昭和初期の芸術家像……喜多孝臣 199／日本製プロパガンダポスターに関する調査研究について―中野区立歴史民俗資料館所蔵「須藤亮作文庫」を中心として……田島奈都子 202／私立女子美術学校女子美術学校（九〇〇―一九二九）における洋画教育……山田直子 205／『幼学綱要』挿画成立事情考―楓湖芳柳（一世）芳年との関わりをめぐって……杉江京子 207／高島北海と下関市立美術館……岡本正康 210／狩野芳崖筆、明治十年代の寿老人図について―道釈人物画における雪舟学習の成果と応用……関根佳織 213／黒田清輝筆『昔語り』におけるフランス美術の影響……植田彩芳子 215

〔講演採録〕チャールズ・ワグマン再考〔明治美術学会において発表〕 ジョン・クラーク 12～35

編集後記

丹尾安典 244

近代画説

21 2012 目次

巻頭エッセイ

荒縄と尾鰭の話―高橋由一《鮭》をめぐって……………歌田真介 4

巻頭論攷

ボン・タヴエン派残党遺聞……………丹尾安典 12

特集「写真論」

〔特集解題〕近代画説と写真……………木下直之 28

嘗「百社」と写真―統合された写真史に向けて……………福岡真紀 31

明治期視覚文化から読み解く

「横浜写真」の女性表象―金兵衛写真を中心に……………脇田美央 48

小川一眞の「光筆画」―美術品複製の極み……………岡塚章子 68

坂本万七による美術・工芸分野の

写真について―一九三〇―五〇年代を中心に……………白政晶子 94

〔公募論文〕

公募論文審査について……………河田明久 112

『扶桑名画伝』の編纂と堀直格の文芸活動……………佐藤温 114

水曜会と『黎明』

―明治三十年代後半の京都日本画の一動向……………田中修二 132

川島理一郎の東アジア旅行と「旅人の眼」……………蔡家丘 152

近代日本彫刻と石膏師―宮島^{はつめ}を中心に……………吉田朝子 171

〔資料研究〕

「恤兵美術展覧会」について―第一次世界大戦と美術家たち……………高階絵里加 190

研究発表〈要約〉Résumés

起立工商会社の輸出工芸品製造事業に関する考察……………安永幸史 208
／「有翼の天女図」再考―失われた「羽衣」像……………龍野有子 210
／廣島晃甫の画業―大正期個性表現の行く末……………森芳功 212
／一八八〇年代の美術行政―山高信隆を中心に……………野呂田純 215
／工芸指導所と竹工芸―三〇年代モダムから五〇年代ジャパニーズモダンをめぐるシンボリズム……………村上敬 217
／植民地美術と「旅行」―台湾における作品をめぐって……………蔡家丘 220
／明治から戦後初期の石膏デッサン―様式の変容……………瀬谷裕美 222
／六角堂の被災と再建計画……………金子二夫 225
／災害と美術館の役割……………伊藤由美 227
／FUKUSHIMAのいま―郡山市立美術館から……………中山恵理 229
／銅像か建築か―京都の創建神社と明治前期の「モメント」概念……………清水重敦 231

編集後記

〔明治美術学会会員業績録 2011年4月1日～2012年3月31日〕 1～7

丹尾安典 234

巻頭エッセイ

公立図書館の使命と図書資料をめぐって……………金子一夫 4

特集「版画・印刷」

特集解題 版の時代の過去・現在・未来……………岩切信一郎 10

一九五〇年代における日米版画の人的交流……………桑原規子 12

―斎藤清・関野準一郎・棟方志功を中心に―

内田正雄『輿地誌略』挿図の典拠について……………増野恵子 39

―アメリカ地理教科書との関係を中心に―

近代日本美術界におけるポスターという存在……………田島奈都子 58

写される戦場―日露戦争画報雑誌における

石版・写真銅版印刷による「版の画」をめぐって……………向後恵里子 80

「公募論文」

公募論文審査について……………金子一夫 94

文久二年幕府遣欧使節団に随行した

絵師 原鵬雲をめぐって……………江川佳秀 96

「官社へ銅石像設立之儀ニ付伺」考

―京都の創建神社と明治前期のモノUMENT概念……………清水重敦 112

日本美術院の五浦時代と「いはらき」新聞

―地域との交流からみる五浦時代の再考察……………清水恵美子 130

動乱の國華社―『國華』変質の舞台裏……………角田拓朗 150

日本統治期の台湾人彫刻家・黄土水における

近代芸術と植民地台湾―台湾原住民像から日本人肖像彫刻まで……………鈴木恵可 168

戦後の岩波書店と「美術の大衆化」……………山本佐恵 187

研究発表〈要約〉Résumés

東京美術学校依囑製作史概要……………吉田千鶴子 204 / アジア・太平洋戦争下における美術雑誌統制について……………友岡あゆみ 206 / 朝鮮人画家 都相鳳(トサンボン)の朝鮮磁器の絵をめぐる試論―東京美術学校への留学体験と柳宗悦による朝鮮民芸保護活動との関連性……………中 政正 209 / 竹内栖鳳の人体表現―東本願寺御影堂門天井画を中心に……………貝田圭子 213 / カリフォルニアの日本人画家 青木年雄……………チエルシー・フォックスウェル 215 / 「佐伯祐三と野球」……………福田 衛 218

編集後記

丹尾 安典 221

〔明治美術学会会員業績録 2012年4月1日～2013年3月31日〕 1～7

巻頭エッセイ

絵画技術史から見た日本への印象派紹介者再考……………森田恒之 4

特集 占領期の美術展と展示空間

特集解題「占領期の美術展と展示空間」について……………五十殿利治 14

駐留軍施設における美術展示空間

―アーニー・パイル劇場と陸軍教育センター……………桑原規子 20

北荘画廊をめぐる―戦前と戦後をむすぶ場所……………大谷省吾 44

一九四九年の雪舟展計画……………志邨匠子 71

末松正樹と占領下のフランス、そして日本……………弘中智子 86

「公募論文」

論文審査会・査読結果報告……………佐藤道信 100

明治期博覧会における園芸振興と日本植物ブーム……………山崎菜未 102

「公募資料紹介」

未公刊史料「辰野金吾氏演説」―辰野金吾の〈美術建築〉観―……………河上眞理 120

研究発表 〈要約〉 *Résumés*

国沢新九郎のイギリス滞在中の恩師の解明 ジョ・エドガー・ウィリアムズの経歴と技法……………杉原朱美 134
婦人雑誌にみる文展美人画……………山本由梨 136
龍村平藏の明治・大正における織物に関する考察……………
堺若菜 139
朝鮮美術展覧会の工芸部創設とその意義……………盧ユニア 141
著作者としての岡本太郎と
一九五〇年代の美術関連出版……………春原史寛 144
写真にみる阿部碧海の足跡―資料紹介を中心に……………
森仁史 147
近代日本における死者表象―岩手県下の供養絵額を中心に……………三宅翔士 150

編集後記

丹尾安典 154

「公募資料紹介」

「明治美術会のやうなもの」川村清雄関係新資料紹介……………石井元章 8
27

巻頭論攷

秋尾 園と工部美術学校……………金子 一夫 4

特集 近代の宗教美術

〔解題〕特集「近代の宗教美術」について……………河田明久 34

京都の日本画と仏教の「空間」……………田中修二 38

大正・昭和戦前期の仏像風彫刻について……………藤井 明 62

藤田嗣治からレオナルド・フジタへ
——カトリックへの道行き……………林 洋子 79

〔公募論文〕

論文審査会・査読結果報告……………五十殿利治 96

小石川植物園の画工・渡部鋏太郎の足跡
——明治二十年代の植物学と図版制作……………藏田愛子 98

研究発表〈要約〉Résumés

『前賢故実』の史的位置……………中野 慎之 116／京都の日本画家 在日韓国人 鄭末朝……………李 ユンヒ 119／北蓮藏の滞仏期における活動と作品について……………奥間 政作 122／「工芸技術保存資格者（丸技）」の戦中・戦後——GHQ／SCAP文書《Resume of Artisans and Handicraft in Japan》について……………佐藤 直子 125／高橋由一「洋画局的言」成立過程についての考察……………志田 康宏 128／印刷と美術のあいだ——凸版印刷の設立と工部美術学校……………本多 真紀子 131／坂本万七の仏像写真について……………白政 晶子 134／村山知義再考——新資料によるベルリン時代……………五十殿 利治 137／「近代美術と博物館」……………松岡 智子 140

編集後記……………丹尾 安典 143

巻頭論攷	一九三〇年代東京銀座の画廊「日本サロン」について……………五十殿利治	4
------	------------------------------------	---

特集 近代日本美術の地域・地方・中央

〔特集解題〕近代日本美術における地域・地方・中央……………金子一夫	19
-----------------------------------	----

実業家 鈴木藤三郎と三体の観音像……………立花義彰	22
---------------------------	----

佐藤俊介（松本竣介）と同郷会的なものの諸相 ―宮沢賢治「農民芸術概論綱要」とのかかわりへの展開……………大久保辰眞	36
--	----

戦前の新潟県における洋画運動 ―民間有志が設立運営した新潟県展を中心に……………山浦健夫	54
---	----

〔公募論文〕論文審査会・査読結果報告……………児島薫	64
----------------------------	----

原田直次郎がドイツに伝えたもの ―画家「ツェツィーリエ」の日本的な作品をとおして……………安松みゆき	66
---	----

一九一〇年日英博覧会と「やまとひめ」 ―日本を表象する女神像の誕生とその背景……………林みちこ	83
--	----

近代日本のセメント美術 ―明治期における導入の経緯を中心に……………坂口英伸	102
---	-----

展示空間から見るポストン日本古美術展覧会（一九三六年）……………江口みなみ	121
---------------------------------------	-----

近代日本における「文人画」概念の生成……………李趙雪	140
----------------------------	-----

〔資料紹介〕徳川昭武旧蔵《大理石獅子彫刻》《勝利者!!!》 ―華族の西洋美術コレクションが育んだ交流とその文化土壌……………小寺瑛広	161
---	-----

研究発表（要約）Résumés

浅井忠の図案―基層文化への志向・民族論との交錯……………大塚麻央 180／道具立てから舞台美術へ―変遷と成立……………武田侑子 183 ／伊藤継郎と神戸の近代洋画―伊藤アルバムからの一考察……………大槻晃実 185／シンボジウム報告Ⅰ五姓田義松と、近代絵画史 と近世絵画史のあわい……………角田拓朗 188／報告Ⅱ明治美術研究をひらく―いまいちど近代を考えるために……………向後恵里子 190 ／報告Ⅲ十九世紀日本美術へ向けて―グローバル研究「日本研究」の二つの視点から……………チエルシー・フォックススウエル 191／国際 文化振興会編纂『ポストン日本古美術展覧会報告書』（一九三七年）に見る展示戦略……………江口みなみ 194／中島待乳の幻燈 製造……………遠藤 みゆき 196／一九五〇年前後のアメリカにおける日本古美術展について……………志邨 匠子 198／聖と俗の天皇肖 像―「御真影」と「ウラ御真影」……………増野 恵子 200	
--	--

編集後記……………丹尾 安典	203
----------------	-----

特集 近代の欧米における日本美術展

〔特集解題〕

近代の欧米における日本美術展……………

佐藤道信 4

近代における西洋での日本美術展―「イギリス」……………

小野文子 8

近代ドイツにおける日本美術展覧会……………

安松みゆき 26

近代におけるフランスでの日本美術展

「一八六八―一九四五」芸術性と政治性のはざまで……………

林 洋子 42

近代イタリアにおける日本美術展

十九世紀末から第二次世界大戦まで……………

石井元章 60

近代におけるアメリカでの日本美術展……………

志邨匠子 76

〔公募論文〕〔資料紹介〕

論文審査会・査読結果報告……………

桑原規子 91

〔公募論文〕

日露戦争の美術―戦争画・従軍画家・美術国……………

向後恵里子 94

臨時セメント美術教室

―東京芸術大学所蔵の資料を手がかりとして―……………

坂口英伸 112

〔資料紹介〕

所謂「ボストン・オリエンタリスト」写真の人物特定

―岡倉寛三が交流した在京欧米人……………

伊藤泰雄 136

多色摺木版画雑誌『美術世界』（渡辺省亭編・春陽堂）……………

新井佐絵 152

研究発表（要約）Résumés

原田直次郎のミュンヘン留学―展覧会調査を通して……………吉岡知子¹⁷⁰／長谷川三郎における三つの「写真」―戦前期の活動をめぐって……………谷口英理¹⁷²／佐伯祐三評価 土方定一と勝本清一郎……………福田衛¹⁷³

編集後記……………

丹尾安典 176

〔明治美術学会会員業績録 2016年4月1日～2017年3月31日〕…………… 177

特集 「奉祝」から「報国」の時代

〔特集解題〕

大衆が導くナショナルリズム―奉祝の時代……………児島 薫 4

特集 「奉祝」から「報国」の時代

立太子礼奉祝献上画に見る〈帝国〉のまなざし

――中澤弘光の朝鮮半島取材旅行を中心に……………原 舞子 8

美人画室再考――美人画家の評価と表現……………中野 慎之 32

国会議事堂の意匠と装飾に見る〈日本〉……………手塚 惠美子 54

『新日本百景版画』について……………西山 純子 74

〔公募論文〕
公募論文の審査会結果について……………佐藤 道信 98

〔公募論文〕
佐久間文吾と博物図
――洋画家、版下画家、そして画工として……………牧野 由理 100

一九二〇年代の中華民国における
「文人画」概念の受容と展開――批判対象から「国画」の理想へ……………李 趙雪 118

〔資料紹介〕
朝鮮物産共進会「美術館」天井画下絵について
……………「天井画下絵について」児島 薫／「安藤東一郎、田中良略歴」手塚 惠美子 132

研究発表〈要約〉 Resumes
古賀春江の《涯しなき逃避》をめぐる一考察……………高橋 愛子 138／近代花鳥画史における渡辺省亭の位置―絵画表現を中心に……………植田 彩芳子 140／高島北海とジャポニスム……………鶴飼 敦子 142／小糸源太郎コレクションの天津絵……………森谷 美保 144／河鍋曉斎筆《釈迦如来図》についての考察……………宮崎 晴子 146／日本近代版画を支えた戦後の科学技術……………森田 恒之 148／「やまとひめ」研究補遺―日本を表象する女神像の髪型と「みづら」……………林 みちこ 150
／昭憲皇太后入内と慶応末年・明治初年の絵師の御用について―京都府立京都学・歴彩館蔵『寿栄君御方女御御入内仮日記』をもとに……………福田 道宏 152

編集後記……………丹尾 安典 154

〔明治美術学会会員業績録（2017年4月1日～2018年3月31日）……………i 8

近代画説

28
2019

目次

特集 戦後日本美術のはじまり

〔特集解題〕「戦後日本美術のはじまり」について……………桑原規子 4

日本美術会——一九四〇年代の夢と現実……………河田明久 12

一九四六年池袋 振幅と継続……………小林未央子 36

消えた二科会工芸部「一九四六―一九五一」
——戦後工芸の「伝統」と「前衛」の萌芽……………木田拓也 56

日本アヴァンギャルド美術家クラブをめぐって……………大谷省吾 74

村田良策と草創期の神奈川県立近代美術館……………西澤晴美 93

「公募論文・資料紹介」

論文審査会・査読結果報告……………大谷省吾 112

「公募論文」

ウィリアム・スタージェス・ビゲローの
仏教思想と日本文化支援——祈りと芸術の結合を求めて……………井上 瞳 114

「資料紹介」

サマレーズ・コレクションの五姓田派作品群について……………角田拓朗 132

「石橋和訓氏肖像画会」について……………林 みちこ 150

研究発表〈要約〉Résumés

東京⇄沖縄 池袋モンパルナスとニシムイ美術村 弘中智子 165／ウィリアム・ビゲローの求めた涅槃——ボ
ストン・ブラーミンと東洋思想の受容 井上 瞳 168／美術評論家・富永惣一 小寺瑛広 170／一九五〇年代の
福沢一郎——「周縁を巡る」ことについて 伊藤佳之 172／牧野克次の創作活動——京都・ニューヨーク時代を中心
に 石井香絵 174／戦前の高知・東京における土陽美術会の活動 塚本麻莉 176

二〇一九年研究発表・活動……………179

編集後記……………児島 薫 180

『近代画説』投稿・審査規定(案)……………182

〔明治美術学会 会員業績録〕2018年4月1日〜2019年3月31日……………188

近代画説

29
2020

目次

巻頭論攷 山本鼎の生いたち 付論 国柱会との関わり……………金子一夫 4

特集

近代日本美術史は、作品の現存しない作家をいかに扱うことができるか？

特集解題 近代日本美術史は、作品の現存しない作家をいかに扱うことができるか？……………大谷省吾 54

国安稻香——京都の近代「彫塑」を育てた彫刻家……………田中修二 59

今戸精司——趣味人としての彫刻家……………迫内祐司 76

自己に忠実に生きようとした画家——船越三枝子……………コウオジエイマゲダレナ 93

「近代日本美術史」は「女性人形作家」を扱うことができるのか？——上村露子を例に……………吉良智子 106

「公募論文」

公募論文の査読結果について……………塩谷 純 120

大阪博物場と同美術館——書を起点として……………前川知里 122

「民衆藝術家」矢崎千代二のパステル表現——「色の速写」と作品の値段……………横田香世 140

荒城季夫の昭和期美術批評——忘れられた「良心」……………渡邊実希 158

研究発表〈要約〉Resumes

戦時下の東京美術学校——工芸技術講習所の活動と意義——浅井ふたば¹⁷⁶／太田喜二郎研究——京都帝国大学関係者との交流を中心に——植田彩芳子¹⁷⁸／矢崎千代二とパステル画会——洋画の民衆化を目指して——横田香世¹⁸⁰／荒城季夫の戦前期美術批評と大衆社会 渡邊実希¹⁸²／萬鐵五郎の雲と自画像——禪を視点とする解釈 澤田佳三¹⁸⁴／文展における美人画の隆盛と女性画家について——松園を中心に——児島 薫¹⁸⁷／山本鼎の生いたち——新資料による解明、そして国柱会のこと——金子一夫¹⁸⁹／戦時下の書と空海 志邨匠子¹⁹¹／前衛書家上田桑鳩に見る書のモダンズム——日本近代美術を周縁から問い直す 向井晃子¹⁹³／太平洋画会日誌にみる研究所争議と太平洋美術学校の開校——洪原会NOVA美術協会の活動にもふれて 江川佳秀¹⁹⁵

二〇二〇年研究発表・活動……………197

編集後記……………児島 薫 198

『近代画説』投稿・審査規定……………202

〔明治美術学会 会員業績録〕 2019年4月1日〜2020年3月31日……………1／8

〔第30号記念〕 対談 むかしがたり……………金子 一夫・丹尾 安典 4

〔第30号記念特別寄稿〕 近代日本美術研究の現在……………佐藤 道信 17

〔第30号記念特別寄稿〕 義足考 1867-1905……………木下 直之 20

特集 近代日本画の「新古典主義」再考

特集解題 近代日本画の「新古典主義」再考……………塩谷 純 41

安田靉彦筆《風神雷神図》考

——昭和戦前期における日本美術院の絵画表現について……………椎野 晃史 49

土田麦僊の花鳥画と古典絵画観

——二つの《罌粟》を中心に……………長嶋 圭哉 66

新古典主義と岸田劉生

……………中野 慎之 85

タブローへの道

——昭和初期洋画における「脱・大正」の試み……………河田 明久 103

〔公募論文〕

公募論文の査読結果について……………河上 眞理 122

やまと絵画家・高取稚成の画業について

……………田中 純一郎 124

占領期における新日本美術会の活動

——支援者 中村勝五郎をめぐって……………川村 笑子 144

松本竣介《街》連作における「カメラの眼」

——寺田寅彦の映画芸術論を参照軸にして……………大久保 辰眞 163

下岡蓮杖筆《函館戦争油画》の考察

——中島二郎助肖像写真とともに……………山口 順子 181

研究発表（要約） Resumes

和田英作《松林（下絵）と岩崎彌之助高輪邸と画業——表現の模索から舞踊画へ	吉井大門 203／塚本岩三郎と眼の教育」の起業——上野パノラマ（帝国禮画）館開設と東京造画館」の展開——	長田 謙一 205／新日本美術会と戦後美術団体の再編——GHQ／SCAPとの関係から	川村 笑子 207／ヒトラー政権の芸術政策に対する日本の態度について	江口 みなみ 209／「森田恒友展」と恒友の滞欧期について——紀行文と葉書を手がかりに	吉岡 知子 211／大橋翠石展と甲斐虎山展を通じて見えてきたもの——独立作家研究の方法論——	村田 隆志 213／イタリアにおけるラグーザ・玉 再考	河上 眞理 215
--------------------------------------	--	--	------------------------------------	---	--	-----------------------------	-----------

二〇二二年研究発表・活動……………217

青木茂さんを送る……………森田 恒之 218

編集後記……………児島 薫 220

『近代画説』投稿・審査規定……………224

〔明治美術学会 会員業績録〕2020年4月1日～2021年3月31日……………1／8